

～海外交流派遣 研修報告～

大中山中学校 2年 おおがね 大金 なぎさ 凧咲

夢にまで見たアメリカ。テレビで見るだけでは感じられない、アメリカ人のたくさんの優しさに触れ、たくさんの経験をし、何にも代えられない充実した 12 日間となりました。

10月3日(火)

待ちに待った出発日。函館空港にいる間は楽しみな気持ちでいっぱい、笑顔で家族と別れました。羽田空港から成田空港へ、刻一刻と出国時刻が迫り、午後 6 時頃、ついに日本を出発しました。それまで全く緊張していなかったのに、飛行機が浮いた瞬間、不思議と涙が溢れました。

ボストンに着くと、ずっと憧れていたアメリカの地を意外とあっさり歩いていることに驚き、また、嬉しさもありました。CCHS に着き、ホストファミリーとの対面。ファミリーは、私が学校に入ってからすぐに、私に気づいてくれました。この時、嬉しさの反面、函館からずっと一緒に行動してきた訪問メンバーと離れることに、「これからは皆を頼れないんだ」という緊張と怖さもありました。家に着き、部屋を案内され、その日はすぐに休ませてもらいました。

10月4日(水)

コンコードの朝も、静かで空気が気持ちよかったです。

《学校 1 日目》

とても広く画期的な体育館で、ドッジボールをしました。アメリカ人は、BGM に合わせて歌ったり踊ったりしながらドッジボールをしていて、とてもはじけていました。その後、演劇クラスへ参加。グループになって短い劇をしたり、英語版フルーツバスケットなどをしました。アメリカの生徒達は、言葉が通じないことに戸惑いながらも、ジェスチャーを使って一生懸命話しかけてくれて、とても楽しめました。昼食は人生初のカフェテリアにて。味は日本と大差なく、景観も良くて美味しく頂きました。

帰宅後、昨日渡せなかったお土産を渡したのですが、事前に考えていた英文がうまく話せず、ジェスチャーとカタコトの英語でどうにか渡せました。妹のベロニカがポッキーやハイチュウを喜んでいて、とても嬉しかったです。夕食後、お父さんとベロニカとトランプで遊び、言葉やルールが違っても遊びや音楽で心が繋がれるんだなあと感じ、何だか心地が良かったです。

10月5日(木)

昨夜の団欒で、緊張感と生活の違和感が消え、少し遅く起きてしまいました。

《学校 2 日目》

カフェテリアでのワークショップで、中学生女子 3 人は来てくれたアメリカ人に自分の名前を筆ペンで書いてもらい、日本語の独自の文化紹介をしました。自分の話した英語が伝わった事で、少しの自信と嬉しさが生まれ、同時に、今学校で習っていることはとても重要なのだと実感しました。部活動見学では、たくさんの部活が広大な敷地で生き生きと活動していて、すれ違う度、「Hello!」「見に来

て!」と気軽に声をかけてくれて、アメリカ人のフレンドリーさに触れることができました。

夕食は、99 というレストランにて。ボリュームたっぷりで美味しく頂きました。アメリカの夜は意外と静かで、踏切の音が聖夜の鐘のように鳴り響いていました。



レストラン 99

10 月 6 日 (金)

アメリカの学校に行けるのはこれが最後かもしれないと、少し寂しさを感じながらも、張り切って一日のスタートを切りました。

《学校 3 日目・最終日》

とても楽しみにしていたラジオ放送。大好きな「嵐」の曲をかけてもらい、楽しく話せました。メンバーは皆英語がとても上手で自分ももっと勉強してうまく話せるようになろう!と思いました。

その後、オールドノースブリッジ、ミニットマン像、ウォールデンポンドを観察。歴史的に重要な地に行き、戦争についての話を聞き、アメリカの歴史にさらに興味が湧きました。ウォールデンポンドは、全方位自然に囲まれ、太陽が当たった水面がキラキラと美しく輝いていて、今でも目に焼き付いています。

その後、地元のテレビに出演。用意されていた質問以外にも聞かれ、少し戸惑いながらも答えることができました。アドリブで話すことは様々な場面で必要だと思うので、とても良い経験になったと思います。

帰宅後、ベロニカとマフィン作り。ベロニカのお友達も来ていて、彼女たちが元気いっぱい無邪気に歌ったり踊ったりする様子に、慣れない生活の疲れが一気に癒されました。

10 月 7 日(土)

初めての休日。近所のダンキンドーナツにて朝食を頂いた後、米軍のヘリコプターが降り立つということで、近くの公園へ。しかし約 3 時間待ってもヘリは現れず、残念な

気持ちのままポットラックパーティに行きました。私達はイカのかぶり物をして、アメリカ人と一緒にイカ踊り！日本とアメリカが一つになった気がして、楽しかったです。パーティにはたくさんのお料理があり、これぞアメリカ！という豪華さで、そんな場にいることに感激しました。

10月8日(日)

この日は1日ホストファミリーと過ごす日。ファミリーとベロニカのお友達2人と遊園地へ！小さい子供もたくさん絶叫マシンに乗っていることに驚きでした。その後、ボストンで映画を観ました。言葉は聞き取れなかったけど、映像の力は素晴らしく、とても感動できました。



遊園地にて

10月9日(月)

訪問メンバーで、ボストン市、ケンブリッジ市を視察。ハーバード大学でジョン・ハーバード像の足に触れてきました。その後クインシーマーケットで昼食を買った時、まさかのぼったくりに遭いました。危ないとは聞いていたけれど、約5ドルもぼったくられたことはショックで、それからは、わかっていても必ず「How much is this?」と値段を確認するようにしました。嫌な思いをしたけれど、ジュンコさんに助けてもらったので、結果的にはこれも良い経験だったと思えます。

明日はファミリーとお別れの日。夕食後、ファミリーがケーキにロウソクを立てて、「Thank you!」と言いながら私に出してくれました。胸がじんわりとし、コンコードで過ごした日々が走馬灯のように駆け巡りました。

10月10日(火)

短期間だったけど、たくさんお世話になったホストファミリーとコンコードの町。学校までの道を目に焼き付け、ホストファミリーと笑顔でお別れしました。

ニューヨークに入ると世界有数の都市に来たんだという高揚感で胸がいっぱいになりました。ロックフェラーセンター展望台からのニューヨークを一望できる景色は、何時間でも見ていられるような素晴らしさで、離れるのが名残惜しかったです。夕食はタイムズスクエアにて、パスタやお肉を頂きました。とても食べやすかったです。



ニューヨークの街

10月11日(水)

ニューヨーク 2 日目は、様々な所へ行き、見るもの全てが新鮮で、一瞬一瞬が今でも忘れられません。国連で日本の国旗を見つけた時は、とても嬉しかったです。国連内には色々な展示物があり、戦争や、今もなくならない軍事力の生々しさを感じました。

一番楽しみにしていた自由の女神は、想像以上に像も土台も大きく、この目で見られたことを誇りに思います。土台の展望台から上を見上げると、すぐそこに自由の女神像があり、銅のつなぎ目まで見え、前を見ると広い空と海と大都会、私にとって一生忘れられない景色です。

アメリカで過ごす最後の夜。短期間だったけど、数えきれないほどの経験と思い出ができました。まだまだアメリカにいたいという気持ちになり、過ごしている 1 分 1 秒が儚く尊く、時が止まって欲しいと思いました。

10月12日(木)～14日(土)

アメリカ出発の日。楽しかった事嬉しかった事、悲しかった事辛かった事、色んな思いを振り返りながらの 14 時間のフライトは、今までのどんな時間よりも早く過ぎ去っていきました。

まだ帰りたくない気持ちもあったのに、成田空港ではやっぱり日本が一番いいな、と思いました。

～研修を終えて～

小学生の頃、この海外交流に参加し、アメリカへ旅立つ 2 人のいところを見届け、それからずっと自分もいつかは行きたいと思っていました。何年間も憧れ続けた分、この 12 日間は、本当にかげがえのない経験となりました。このような素晴らしい経験ができたのは、一緒に笑い合い、支えてくれた 13 人の派遣者の皆さんがいてくれたからこそです。本当に感謝しています。また、お世話になった七飯町役場の皆様、学校の先生方、ホストファミリー、アメリカでお世話になった方々、そして家族に、改めて感謝致します。貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。